

女性の力で変革を

男女共同参画と災害・復興ネットワーク
代表 堂本 暁子

ポスト兵庫行動枠組(HFA2)に向けて「仙台提言」を策定

仙台国際ラウンドテーブル 2014年6月14日

目的:安全で回復力のある地域社会の実現

- 意思決定の場への女性の参画:3割の確保
- 女性の参画を推進するには男性の協力が必要不可欠
- 女性の強さと回復力(レジリエンス)を認め、評価する
- 女性の能力及び経験を活用するため、指導者として育成する
- 女性固有の健康に配慮し、医療・保険・福祉サービスを保障する
- 女性に対する暴力を防止するための支援体制の確立
- 環境、気候変動に配慮した再生可能エネルギーの推進

Prepcom II 報告

第3回国連防災世界会議の第2回準備会合
2014年11月17日~18日 ジュネーブ

議題: ポスト行動兵庫枠組(HFA2)

参加: 150か国・地域・NGO等100団体

・ 女性主要グループからの要望

- ・ 女性の参画とリーダーシップの育成
- ・ 男女共同参画の視点と障害者・高齢者・外国人など多様な主体の参画
- ・ 性別、年齢別データなどの収集・分析・活用
- ・ 適切な指標による成果のフォローアップ



対話会議で発言



女性主要グループ(WMG)



第3回国連世界防災会議に向けて

- ポスト兵庫行動枠組(HFA2)策定後に、その中に記載された男女共同参画の視点や女性リーダー育成などの防災政策が、2025年までの10年間、確実に実施されること
- 国際的な女性のネットワークの確立と密接な連携による情報の共有と政策の充実を図る

2015年3月18日 パブリックフォーラム
国際会議 「防災(DRR)とリーダー養成」
主催 男女共同参画と災害・復興ネットワーク